

オリーブの会通信

2015年2月6日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会

〒760-0078 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)

<http://khj-olive.com/>



第152回月例会ご案内

日 時	2015年2月22日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 (第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	☆一部 13:30~13:40 報告、連絡(理事長) 13:40~15:00 講演会等の出席者による報告感想など 15:00~15:15 休憩 ☆二部 15:15~16:00 講話「モラルハラスメント」 KHJひきこもりピアサポーター・ポパイの会会員 秦 昌彦 氏 16:00~16:30 グループ別話し合い 質疑応答等
参 加 費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円 ・当事者は無料

冒頭の写真は我が家の水仙です。30年程前に知人からいただきました。花のシーズンが終わってからの手入れを知らず、根球が増えるばかりで花が咲きませんでした。何年か前から葉が枯れるまで置いておくようにしたら、数年前からぼつぼつ花が咲くようになりました。でもまだすべての株に花が咲くわけではありませんが、今は年末年始の楽しみの一つになっています。

親が変わると当事者が変わり、時間はかかるけれども自らの力でやがて回復していく、可憐な水仙を眺めながら、そんなふうに感じました。

【1月例会（1月18日）の概要】

1「精神科クリニックで出会う 患者さんたち」

メディカル カウンセリングルーム たなかクリニック

講師：精神科医 田中 和孝氏

○クリニックの紹介

- ・完全予約制
- ・診察室は他の人と顔を合わせないよう、また明るい環境に配慮している。
- ・薬、カウンセリングや環境整備では変化がみられず、リハビリが必要な場合は他の病院に紹介。
- ・10歳代から、80歳代まで。
- ・2割ぐらいはカウンセリングだけで治療している。
- ・神経症（7～8割）が多い。統合失調症は1割未満。
- ・神経症のなかにパニック障害、社会不安障害、新型鬱病が含まれる。
- ・神経症は薬が効かないことが多いのでカウンセリング、環境調整にて治療。
- ・神経症は心の中で自分の理想と現実のちがいに葛藤する。だれも神経症的なものを持っている。程度が強くなると神経症として発症する。
- ・葛藤の処理の仕方によってヒステリーと強迫神経症がある。
- ・ヒステリー：こころの不安定さや、身体症状で周りの人につながりを持つとうとする。
- ・強迫神経症：周りの人との関係を断ち、自分が傷つかないようにする。ひきこもりの状態に陥りやすいのではないかと。

○治療の流れ

患者との出会い。

- ・それまでの対処法では対応できなくなった時に来院。
- ・初診はこれまでの話を肯定的に聴く。頑張ってきたところを評価。症状さえ対処法の一つ。ひきこもりは外の世界に向き合うと傷つき苦痛から逃れる対処法の一つではないかと。
- ・独特の考えかた、感じ方（その人にとっては当たり前のこと）の理由を尋ねる。
（どういう時にそのように感じたのかまた行動したのか）そうすることによって、自分の変化に気づく、自分考え方の癖に気づく。
- ・関係が深まってくると、共感だけでは進まない。
- ・否定的なこと、または恥ずかしいことを言った時は評価する。

- ・心の中から湧いてくることを言葉にできれば、強迫症の人はガードを緩め、ありのままの自分でいいと思えるようになり、自分のペースで生活していけるようになる。
- ・居場所が見付けられる、折り合いがつけられるようになる。
- ・援助者が一般的な世間の価値観、自分自身の価値観に縛られないことが大切。
- ・周りが、変えようとしても変わらないが、本人が、変わろうとすれば、変わる可能性がある。
- ・受け止めてあげようとする、子供に対する態度が変わる。そうすると家族に余裕ができる。行きつ戻りつ、ゆっくりと変化する。

○症例提示

うつ病（発達障害？）、パニック障害、強迫性障害、統合失調症の症例提示があった。
休職や休学といった環境整備、カウンセリング、向精神薬の処方による治療経過が話された。

○質疑応答

Q・個人作業療法について

A・作業療法は一般的には集団で行うが、作業療法士と1対1で本人が好きなことを一緒に行う。ゆっくり、年単位で。失敗体験がいけない。

Q・正月にアルコール摂取で朝起きられなくなって、昼夜逆転している。それまで朝は8時ごろには起きていた。起こしたほうがよいのか。

A・本人に起こしてほしいかどうか尋ねてみる。

Q・尋ねて起こしてほしいくないという返事が返ってきたら、自暴自棄になっているのではないかと怖い。

A・起こしてほしいくないのはもとに戻したくないということで、何か別のことで困っている理由を聞く。

Q・暴力について

A・言葉で言う代わりに関係性を持つため、親にではなく壁に当たる。依存の裏返しかも。言葉で表現できるようになれば・・・

2 グループ別話し合い

グループ1

2月27日中讃保健所に於いて境先生の講演会が開催される。(5ページ参照)

兄弟姉妹の会は、まだ香川では設立されていないが、香川県の当事者の姉妹が東京で参加していると聞いている。

居場所での作業も作業療法になるのではないか。それが収入につながればよいと思う。

オリーブの会に出席していない家族に連絡を取り、現状を調査してはどうか。(分析は専門家に依頼が必要な場合もあるのでは。)

グループ2

2名の方から、家事を手伝ったり農業を手伝ってくれるようになった。

そのうち1名の方は、ハウスで食用のバラを栽培していて朝、水やりを手伝ってくれ、コミュ

ニケーションが進むようになったとの報告があった。

3 報告・連絡事項

川井理事長

- ・ポパイの会の若者は、今日ボウリング大会を行っている。はじめて、案内周知からボウリング料金の支払いまで、若者にしてもらった。
- ・3月1日（日）四国ブロック会議開催予定。議題は「第十回 全国ひきこもり家族・支援者代表交流研修会・香川大会」について、はじめて四県の意見交換を行う。
- ・1月23日（金）平成26年度第2回香川県ひきこもり対策連絡協議会開催、内容は事例検討。

泉理事

○県との話し合い

- ・居場所に対する助成金は困難であるが、来年度のフォローアップ研修は考えているとのこと。
- ・全国大会に向けてのプレ大会に、厚労省の援護局総務課から日野氏招聘について同意。

○市との話し合い

- ・来年度から始まる ひきこもりサポーター派遣事業として準備ができ次第 養成研修修了者と保健師と一緒に訪問活動をスタート。規模は高松市内10人程度の予定と思われる。

○作業所見学

- ・作業所の進んでいる和歌山県に1泊2日で見学会実施。参加希望者募集中。若者の参加も歓迎。

以上

【ポパイの会】

2015/1/18（日） ボウリング大会 （参加者：男性5名、女性3名 計8名）

僕が参加させて貰うようになってからは、3度目のボウリング大会となった。また今回初めて参加された方が4名おられ、画期的な意味あるイベントになったのではないかと思います。

その後、2台の車に分乗しジョイフルに向かいました。そこで、今日の事、今後の活動についての意見交換、また、それぞれの近況などについて和やかに歓談しました。

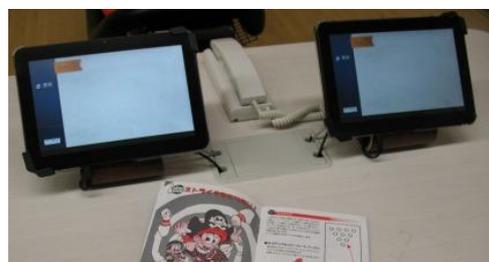
途中より月例会終了後、保護者の方々4名も加わりいろいろお話させていただきました。

今回は、僕の知っている限りにおきましては、ほぼ完全に当事者だけで行った初めてのイベントであり、そういう意味でも大変有意義なイベントになったのではないかと考えています。

とにかく恙無く終了することができ、ホッとしています。

皆様 ありがとうございます。

（ポパイの会 Kさんの日誌より抜粋）



【2015 / 2・3月居場所活動予定】



内 容		月	日	曜日	時 間	担 当
2014年度第11回運営委員会		2	1	日	13:30~17:00	川井
2014年度第2回拡大理事会		3	1	日	10:00~12:00	川井
四国ブロック会議		3	1	日	13:30~16:00	川井
ポパイの会	・しいたけ菌の植え付け	2	8	日	10:30~14:00	秦・平野
	・デッサン講習	2	15	日	13:30~16:00	森下・本倉
	・活動報告	3	5	木	13:30~16:00	森下・加藤
	・カラオケ (予定)	3	15	日	13:30~16:00	森下・加藤

※デッサン講習については、普通の画用紙は準備しておきます。鉛筆の方は鉛筆、消しゴムを、水彩画の方は絵の具、パレット、筆、筆洗、練消しゴムなど持参してください。何でもOKです。

※鉛筆デッサン、水彩画でも構いません。

【お知らせ】

【ひきこもり支援者研修会】

日 時	平成27年2月27日 (金) 14:00~16:00
会 場	中讃保健福祉事務所 3階 研修室 丸亀市土器町東8丁目526番地
内 容	講演「ひきこもりの若者のやる気を高める認知行動療法」
講 師	境 泉洋先生 徳島大学大学院SAS研究部 准教授
対 象	ひきこもりの人の家族および高校・市町関係者等
申し込み	電話(0877-24-9963)又はFAX(0877-24-8341)

※ 当会の中讃、西讃の関心のある方は、ぜひご参加頂きますようお願いいたします。

【講 演】平成27年2月12日 (木) 14:00~15:30 (小豆総合事務所 東館 2階会議室)

「(仮) ひきこもりについて~KHJ香川県オリーブの会の活動から~」

講師: KHJ 香川県オリーブの会 理事 泉 善法氏

【協議会】平成27年2月17日 (火) 13:30~16:00

かがわ総合リハビリテーションセンター 子ども支援施設 講堂 高松市田村町

「平成26年度第2回当事者団体・家族会との連絡協議会」

【研修会】青少年育成支援ネットワークづくり研修会

平成 27 年 3 月 1 日（日） 13:30～16:00

香川県庁ホール 東館 2 階（高松市番町四丁目 1-10）

香川県総務部県民活動・男女共同参画課 TEL087-832-3196

講演「若者を通じて地域を育てる 地域を通じて若者を育てる」

講師：静岡県立大学国際関係学部 教授 津富 宏氏